消防年報

射　水　市　消　防　本　部

［富　山　県］

令和３年刊行

射水市民憲章

射水市は、雄雄（おお）しい立山を東に仰ぐ富山県のほぼ中央に位置しています。
「いみず」という地名は、わが国最古の歌集「万葉集」の中にもすでに表われています。
わたしたち市民は、この風土と歴史、輝かしい文化と産業を、誇りと責任をもって未来へと引き継ぎ、一人ひとりが豊かに、よく生きるまちをつくりあげるため、ここにこの市民憲章を定めます。

一　まもろう
　海、川、野そして里山に生命（いのち）あふれるまち

一　育てよう
　心身ともに健やかで明るく潤い（うるお）のある家庭を築くまち

一　生みだそう
　学びと勤労に励み安らぎとにぎわいのあるまち

一　創りだそう
　文化を受け継ぎ産業をさかんにし豊かで活力のあるまち

一　深めよう
　世界に開かれた人の和のゆき交うまち

平成十九年一月一日　制定

射水市民の歌

水きららかに街を射（さ）して

作詞　村田さち子

一　果てしなく　広がる
　いみず野の　キャンバス
　描かれた夢は　流れになり
　水きららかに　街を射して
　日本海へ
　　この街を歩くだけで
　　心湧きたつ
　　かけがえのない　ふるさと

二　いみず野に　さざめく
　幸せの　コーラス
　それぞれの祈り　響き合い
　歌きららかに　風と流れ
　あいの風に
　　この街で生れ育ち
　　君に出会えた
　　かけがえのない　ふるさと

きららかな　きららかな　ふるさと　ああー！

平成十九年三月三十一日　制定

は　じ　め　に

平成１７年１１月１日に新湊市・小杉町・大門町・大島町・下村が合併し射水（いみず）市となりました。

この年報は、射水市消防の現況と令和２年（度）中の消防行政に関する実態を統計的に収録し、今後の参考とするとともに、射水市消防を広く一般的に紹介することを目的として編集しました。

なお、諸表については、表の上部にそれぞれ記載した年月日をもって作成してあります。

この年報が消防機関はもとより、広く関係各位に利用され、消防行政の推進のための参考資料となれば幸いと存じます。

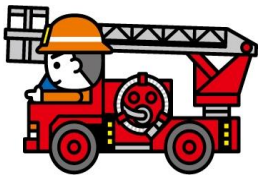
令和３年６月

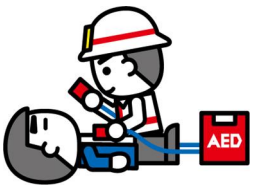
射　水　市　消　防　本　部

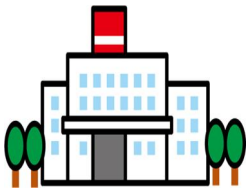
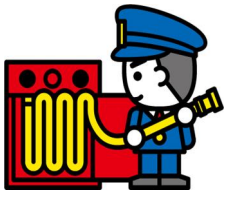
射　水　市　消　防　ミ　ニ　概　要

令和３年４月１日現在

	本部・署所	消防吏員数	消防団員数	予　算
消防機構				（令和3年度当初予算）
予　算	消防本部　1 消防署　2 出張所　2	実員　１１３ 定員　１１５	実員　６７８ 定員　７５７	市一般会計予算 38,280,000千円 消防費 1,161,644千円

	ポンプ車	はしご車等	救急車	消防水利
消防車両				
消防水利	署所 ポンプ車　７台 消防団 ポンプ車　２６台	はしご車　１台 化学車　１台 救助工作車　２台 大型化学高所放水車　１台 泡原液搬送車　１台	高規格救急車　５台	消火栓　1,247 防火水槽　621

令和２年統計	火災件数	救急出場件数	救助出場件数	119番着信件数
火災 救急 救助 119番				
	１４件 （うち建物火災9件）	２，９４２件	５０件	４，５８２件 （うち携帯電話 1,805件）

予防	防火対象物	危険物施設	立入検査数	自主防災
自主防災				
	３，７１５施設	５９４施設数	防火対象物３０６回 危険物施設３１５回 （R２年度中）	幼・少年消防クラブ　４４ 女性防火クラブ　8 私設・自主消防団　２９

―――― 目　　次 ――――

○射水市消防ミニ概要

総　括　編

1　射水市の概況
(1)　位置及び面積……1
(2)　市域の変遷及び人口の推移……2
(3)　一般会計予算額と消防予算額との比較……2
(4)　消防予算額と人口関係……2
2　射水市消防の誕生
(1)　消防の起源……2

総　務　編

1　組　織
(1)　組織図……3
(2)　消防力の現有……3
(3)　消防庁舎……4～5
(4)　事務分掌……6～8
(5)　消防相互応援協定の状況……9
2　人　事
(1)　職員配置状況……10
(2)　階級別年齢状況……11
(3)　階級別勤続年数状況……11
(4)　特殊技能資格取得状況……12
(5)　諸手当状況……12
(6)　消防関係表彰状況……13
(7)　教養・研修状況……14
3　通　信
(1)　無線局の現況……15～16
(2)　通信施設系統図……17
(3)　119 番着信状況……18
(4)　消防テレホンガイド利用状況……18
(5)　最近 5 年間の災害 119 番着信状況……18
(6)　火災警報・注意報発令状況……18

予　防　編

1　防火対象物
(1)　防火対象物の状況……19
(2)　予防査察と防火管理の状況……20
(3)　消防用設備等の設置状況……21
(4)　建築同意事務処理件数……22
(5)　予防関係届出状況……22
2　危険物
(1)　危険物施設状況……23
(2)　危険物規制事務の状況……24
(3)　危険物施設別法規制……25
3　広　報
(1)　広報活動状況……26
(2)　住宅防火診断等の結果……26

警　防　編

1　消防機関の出動
(1)　災害等出動状況 ……27
2　機械及び施設
(1)　消防車両の現況 ……28～29
(2)　特殊資器材の保有状況 ……30
(3)　消防水利の現況 ……31

統　計　編

1　火災統計
(1)　最近5年間の火災概要 ……32
(2)　令和2年中の火災概要 ……33
(3)　出火原因別火災発生状況 ……34
(4)　火災による死傷者状況 ……35
2　救急統計
(1)　最近5年間の救急概要 ……36
(2)　令和2年中の救急概要 ……37
(3)　医療機関別搬送人員状況 ……38
(4)　救急隊員の行った応急処置状況 ……39
3　応急手当普及啓発
(1)　最近5年間の救命講習受講者数 ……40
(2)　対象者別受講状況 ……40
(3)　修了証交付状況 ……40
4　救助統計
(1)　最近5年間の救助概要 ……41
(2)　事故種別救助活動状況 ……41

消 防 団 編

1　消防団組織図 ……42
2　階級別年齢状況 ……43
3　報酬・手当状況 ……44
4　在職年数状況 ……44
5　消防団員の職業構成及び就業形態別の状況
(1)　消防団員の職業構成 ……44
(2)　就業形態別の状況 ……44

自 主 防 災 組 織 編

1　射水市危険物安全協会の現況
(1)　会員数 ……45
(2)　活動概要 ……45
2　私設消防団等の現況 ……46
3　消防クラブの現況
(1)　幼年消防クラブ ……47
(2)　少年消防クラブ ……47
4　女性防火クラブの現況 ……48
5　防火推進員会の現況 ……48

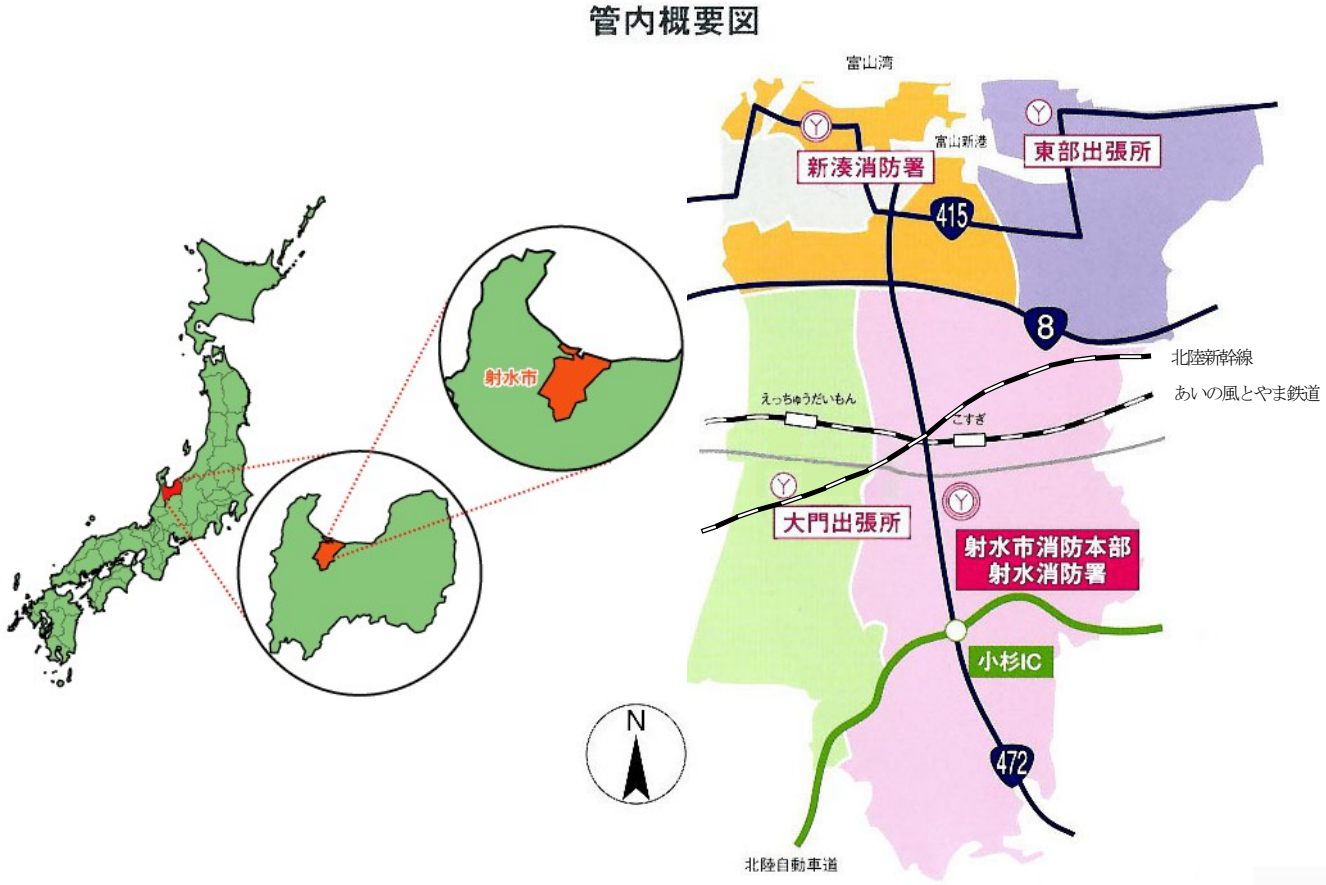
総　括　編

1　射水市の概況

(1)　位置及び面積

射水市は、環日本海交流地点である富山県のほぼ中央に位置しており、市の東は富山市、西は高岡市、南は富山市、砺波市に接し、北は日本海最大の湾である富山湾に面している。

面積 ㎢	距離（㎞）		位置		
	東西	南北	方位	地名	経緯度
１０９．４４	１０．９	１６．６	東端 西端 南端 北端	本江 西広上 水上谷 庄西町一丁目	東経１３７° １１′ 〃 １３７° ０２′ 北緯 ３６° ３８′ 〃 ３６° ４７′



⑵　市域の変遷及び人口の推移（平成１７年１１月１日　　１市3町1村が合併し射水市となった。）

令３．４．１現在

年　度	人　　口(人)	世 帯 数(世帯)
平成２９年度	９３，７１７	３４，４６２
平成３０年度	９３，３４３	３４，７６８
令和元年度	９２，８６７	３５，２２５
令和２年度	９２，６８９	３５，８０９
令和３年度	９２，１３０	３６，１２５

※　平成２４年より外国人登録者数、世帯数を含む。

⑶　一般会計予算額と消防予算額との比較

種別＼年度	令和３年度　　（当初予算）
一　般　会　計	３８，２８０，０００千円
消　　防　　費	１，１６１，６４４千円
比　　率	３．０％

⑷　消防予算額と人口関係

種別＼年度	消防予算額（単位：千円）	人　口（人）	市民１人あたりの消防費(円)	世 帯 数（世帯）	１世帯あたりの消防費(円)
令和３年度	１，１６１，６４４	９２，１３０	１２，６０９	３６，１２５	３２，１５６

２　　射 水 市 消 防 の 誕 生

⑴　消防の起源

慶長１４年（１６０９年)、富山の大火に刺激されて旧新湊地内に火消しの組織ができたものと言われているが明らかでなく、史実としては明和年間各町に詰所を作り、２人若しくは８人の詰員をおいたとされる。当時としては周到なものであったと記録されている。

又、射水消防組合設立以前の射水郡内の消防実態は、昭和２５年４月以前には管内に消防署はなく、富山県内としても常備消防の数は少なかったが、富山県の指導により小杉町に消防本部(署)が設置された。

一方、旧新湊市は昭和２６年に新湊市消防本部が設立された。

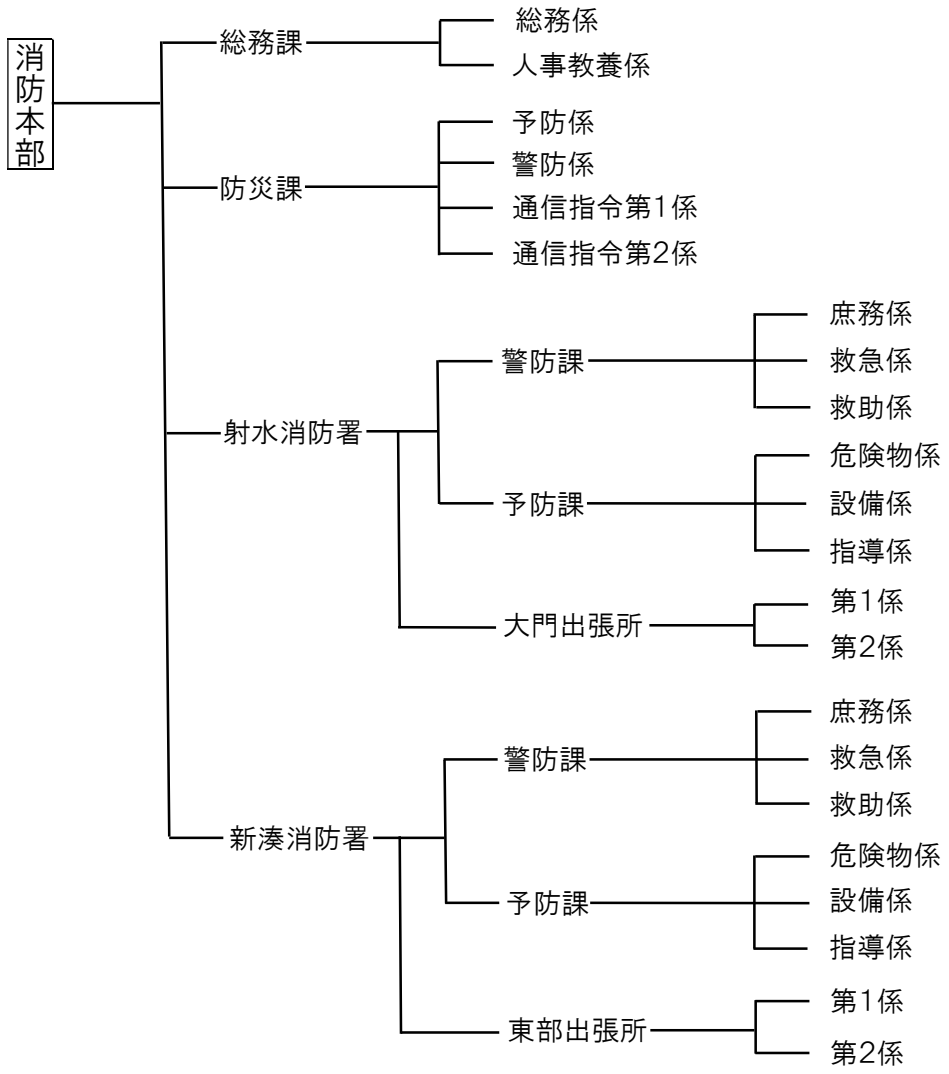
射水市消防本部の設置は、市町村合併（１市３町１村）の新市発足と同時に、それまでの射水消防組合消防本部庁舎を市消防本部とし、１本部２消防署２出張所体制でスタート、職員定数は１１５名となった。各署所には、消防ポンプ車・高規格救急車・救急救命士を配備し管内住民に均一な消防行政を行えるよう配備している。

総　務　編

1　組　　織

(1)　組織図

令３．４．１現在



(2)　消防力の現有

令３．４．１現在

区分		現有	区分		現有
消防本部・署	消防署	2	消防団	屯所	２６
	出張所	2		消防団員	６７８
	消防吏員	１１３		消防ポンプ自動車	２６
	消防ポンプ自動車	7			
	はしご自動車	1			
	化学消防車	1			
	大型化学高所車	1	消防水利	消防水利 （消火栓） （防火水槽）	1,２４７ ６２１
	泡原液搬送車	1			
	救急自動車	5			
	救助工作車	2			
	指揮車	2			

(3)　消防庁舎

射水市消防本部　・射水消防署　　〒939-0332　射水市橋下条1522番地

代　表　電　話	0766-56-0119
F　　A　　X	0766-56-9543 0766-56-9542
火災問合専用	0766-56-9939
E　メ　ー　ル	fire@city.imizu.lg.jp

射水消防署（併設）　　平成17年3月31日竣工

敷　地　面　積	庁　舎　4,960m^2 訓練場　5,284m^2
建　築　構　造	鉄骨造３階建（一部平屋建）
付　帯　設　備	通信塔（高さ地上45m）
庁舎延面積	2,906.90m^2
訓練塔概要	A塔５階建127.59m^2 B塔３階建240.00m^2 C塔３階建132.00m^2

射水消防署大門出張所　　〒939-0234　射水市二口1081番地

代　表　電　話	0766-52-0119
F　　A　　X	0766-52-6711

平成18年12月27日竣工

敷　地　面　積	1,998.29m^2
建　築　構　造	鉄骨造２階建（一部平屋建）
庁舎延面積	575.74m^2

新湊消防署

〒934-0011　射水市本町二丁目13番1号

代　表　電　話	0766-82-8333
F　A　X	0766-82-6826

平成20年12月5日竣工

敷　地　面　積	4,133.98 ㎡
建　築　構　造	鉄骨造３階建（一部平屋建）
庁 舎 延 面 積	2,396.42 ㎡
訓 練 塔 概 要	鉄骨造２階建270.00㎡

新湊消防署東部出張所

〒939-0225　射水市草岡町二丁目52番地

代　表　電　話	0766-86-0119
F　A　X	0766-86-0851

昭和54年8月31日竣工
平成30年12月10日大規模改修

敷　地　面　積	2,386.50㎡
建　築　構　造	鉄筋コンクリート造２階建（一部平屋建）
庁 舎 延 面 積	587.02㎡

(4) 事　務　分　掌

ア 消 防 本 部

総務課	総務係	1　公印の管守に関すること。 2　予算、決算及び経理に関すること。 3　物品の購入、出納及び保管に関すること。 4　財産等の維持管理に関すること。 5　文書の収受発送に関すること。 6　条例、規則、規定等の制定改廃に関すること。 7　補助事業に関すること。 8　団員の組織に関すること。 9　消防団の会議に関すること。 １０　消防団の研修、服務に関すること。 １１　消防協会に関すること。 １２　その他消防団に関すること。 １３　その他他課係の主管に属しない事務に関すること。
	人事教養係	1　職員及び団員の人事・教養に関すること。 2　職員及び団員の福利厚生に関すること。 3　職員及び団員の給貸与品に関すること。 4　職員及び団員の公務災害補償に関すること。 5　職員及び団員の表彰に関すること。 6　消防職員委員会に関すること。
防災課	予防係	1 危険物の許認可及び届出に関すること。 2 石油コンビナートに関すること。 3 危険物統計に関すること。 4 建築物の許認可及び同意に関すること。 5 予防業務の指導、規制に関すること。 6 火災統計に関すること。 7 幼年・少年消防クラブ等の指導に関すること。
	警防係	1 災害の警戒及び防ぎょ計画に関すること。 2 総合防災訓練に関すること。 3 消防施設整備計画に関すること。 4 消防計画に関すること。 5 救急・救助業務統計に関すること。 6 防災会議等関係機関との連絡調整に関すること。 7 消防機械及び装備の整備に関すること。 8 消防水利に関すること。
	通信指令 第１係 第２係	1　火災・救急・救助出動の指令管制に関すること。 2　気象警報等の発令に関すること。 3　通信施設等の維持管理に関すること。 4　消防統計に関すること。 5　災害弱者等の支援情報に関すること。 6　消防相互応援協定に関すること。 7　消防施設整備計画に関すること。 8　消防用水、水道の断減水、道路工事又は占有の届出に関すること。

イ　消　防　署

警防課	庶務係	1　公印の管守に関すること。 2　予算及び経理に関すること。 3　財産等の維持管理に関すること。 4　文書の収受発送に関すること。 5　職員及び団員の庶務に関すること。 6　消防水利の維持管理に関すること。
	救急係	1　救急対策に関すること。 2　救急技術の指導及び訓練に関すること。 3　救急資器材の維持管理に関すること。 4　医療機関との連絡調整に関すること。 5　救急統計に関すること。 6　応急手当の普及啓発に関すること。
	救助係	1　救助対策に関すること。 2　救助技術の指導及び訓練に関すること。 3　救助統計に関すること。 4　消防機械装備の維持管理に関すること。 5　消防訓練及び消防操法に関すること。 6　警防計画（防ぎょ計画）に関すること。 7　水難救護に関すること。 8　消防警備に関すること。 9　自主防災組織の指導育成に関すること。
予防課	危険物係	1　危険物の許認可及び届出に関すること。 2　危険物取扱者に関すること。 3　危険物施設の立入検査及び指導に関すること。 4　石油コンビナートに関すること。 5　少量危険物及び指定可燃物の貯蔵又は取扱いの届出に関すること。 6　液化石油ガスその他高圧ガスに関すること。 7　炉、厨房設備、温風暖房機、ボイラー、給湯湯沸設備、乾燥設備、サウナ設備、ヒートポンプ冷暖房機、火花を生ずる設備及び放電加工機の届出に関すること。
	設備係	1　建築物の許認可及び同意事務に関すること。 2　消防用設備等の届出及び検査に関すること。 3　消防設備士に関すること。 4　防火対象物の立入検査及び指導に関すること。 5　防火（防災）管理者及び消防計画に関すること。 6　消防用設備等点検結果報告に関すること。 7　喫煙及び裸火の使用並びに危険物品の持込みの例外適用に関すること。 8　防火対象物の使用届出に関すること。 9　変電設備、発電設備、蓄電池設備、ネオン管灯設備及び水素ガスを充てんする気球の設置の届出に関すること。

予防課	指導係	1　火災の原因調査及び損害調査に関すること。 2　火災統計に関すること。 3　消防広報に関すること。 4　幼年、少年消防クラブ及び女性防火クラブ等の指導育成に関すること。 5　危険物安全協会に関すること。 6　住宅防火対策に関すること。 7　催物の開催、露店の開設及び物件の搬出の届出に関すること。 8　指定洞道等の届出に関すること。 9　火災と紛らわしい煙及び火炎を発するおそれのある行為及び煙火の打ち上げ又は仕掛けの届出に関すること。
出　張　所		1　職員の庶務に関すること。 2　住宅防火対策に関すること。 3　消防水利の維持管理に関すること。 4　救急資機材の維持管理に関すること。 5　消防機械装備の維持管理に関すること。 6　警防計画・防ぎょ計画に関すること。

(5) 消防相互応援協定の状況

応援協定の名称	協定年月日	協　定　の　内　容
富山県市町村消防相互応援協定	Ｓ４４．２．７	協定市町村（県下１５市町村） 相互応援の種類 (1)　火災防ぎょのための消防隊の派遣 (2)　大規模な災害事故における救助隊及び救急隊の派遣 (3)　その他の災害に際し防ぎょに必要な人員及び資器材の援助
船舶火災の消防活動に関する業務協定	Ｓ４８．５．１７	協定関係市町（９関係市町） ・伏木海上保安部　・富山市　・高岡市　・魚津市 ・氷見市　・滑川市　・黒部市　・入善町　・朝日町 区域 関係市町それぞれの行政区域に属する沿岸水域(港湾及び漁港を含む)とする。 消火活動の担任区分 (1)　ふ頭岸壁等にけい留された船舶、上架及び上渠中における船舶の消火活動は主として関係の消防機関が担当するものとし、伏木海上保安部はこれに協力するものとする。 (2)　上記以外の船舶の消火活動は主として伏木海上保安部が担任するものとし、関係の消防機関はこれに協力するものとする。
石油コンビナート等特別防災区域消防相互応援協定	Ｓ５４．１１．１	協定市町(２市)　・富山市　・高岡市 対象とする災害 (1)　火災、爆発、石油等の漏えい又は流出その他の事故が発生した場合 (2)　爆発等により多数の死傷者が発生した場合 (3)　その他、前２号に準ずる災害が発生した場合
富山県消防防災ヘリコプター支援協定	Ｈ１６．４．１	協定（富山県） 協定区域 市町村等が航空機の支援を求めることができる区域は、市町村等の区域とする。 要求の範囲 (1)　災害が、隣接する市町村等に拡大し、又は影響を与える恐れのある場合 (2)　発災市町村等の消防力によっては、防ぎょが著しく困難と認められる場合 (3)　その他救急搬送等緊急性があり、かつ、航空機による活動が最も有効な場合
高速自動車国道北陸自動車道応援協定	H17．11．28	協定関係市町（２市１組合） ・富山市　・高岡市　・砺波地域消防組合消防本部 区域 小杉 IC から高岡砺波スマート IC　上り線は射水市消防本部 高岡砺波スマート IC から小杉 IC　下り線は砺波地域消防組合消防本部 富山西 IC から小杉 IC　上り線は富山市消防局 小杉 IC から富山西 IC　下り線は射水市消防本部
集団救急相互応援協定	H27．10．　1	協定関係市町（２市１組合） ・高岡市　・氷見市　・砺波地域消防組合消防本部
消防に関する業務協定	H29．12．20	協定（伏木海上保安部） ・射水市沿岸海域及びその沿岸部で災害が発生した場合、相互が協力して消火、捜索、救助等を実施する。

※　協定の内容については、現在の市町村名で表記しました。

2　人　　事

(1)　職員配置状況

令３．４．１現在

組織＼階級			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防職員	小計
消防本部	消防長		1								1
	消防次長			1							1
	総務課	課長・課長補佐		1		1					2
		総務係				1	1				2
		人事教養係								1	1
		派遣				1	1		3		5
	防災課	課長・課長補佐		1		2					3
		予防係				1	1				2
		警防係				1	1				2
		通信指令第１係				1	3		1		5
		通信指令第２係				1	2	1			4
	小計		1	3		9	9	1	4	1	２８
射水消防署	署長			1							1
	副署長				1						1
	警防課	課長・主幹・課長補佐			1(1)	1					2(1)
		庶務係				1	1		2		4
		救急係				1	1	1	1		4
		救助係				1	1		2		4
	予防課	課長・主幹・課長補佐			2	1					3
		危険物係				1	2	1			4
		設備係				1	1	2	1		5
		指導係				1	1		2		4
	大門出張所	所長・所長代理			(1)	1					1(1)
		第１係				1	2	1	1		5
		第２係				1	2		1		4
	小計			1	4(2)	１１	１１	5	１０		４２
新湊消防署	署長			1							1
	副署長				1						1
	警防課	課長・主幹・課長補佐			1(1)	1					2(1)
		庶務係				1	1		2		4
		救急係				1	1	1	1		4
		救助係				1	1	1	1		4
	予防課	課長・主幹・課長補佐			2	1					3
		危険物係				1	2	1	1		5
		設備係				1	1	1	2		5
		指導係				1	2		1		4
	東部出張所	所長・所長代理			(1)	1					1(1)
		第１係				1	2	2			5
		第２係				1	2		1		4
	小計			1	4(2)	１１	１２	6	9		４３
合計			1	5	8(4)	３１	３２	１２	２３	1	１１３
条例定員			１１５								

※　欄の(　)は兼任。

※　富山県消防学校及び富山県防災航空センターへの派遣者を含む。

※　射水市への出向者及び高岡市消防本部への派遣者は含まない

(2) 階級別年齢状況

令３．４．１現在

階級／年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防職員	合計
２０歳未満							３		３
20歳以上～25歳未満							６		６
25歳以上～30歳未満					１	８	１４		２４
30歳以上～35歳未満					１７	４			２０
35歳以上～40歳未満				２	１１				１３
40歳以上～45歳未満				７	１				８
45歳以上～50歳未満			２	１５	１			１	１９
50歳以上～55歳未満		２	６	３	１				１２
５５歳以上	１	３		４					８
合計	１	５	８	３１	３２	１２	２３	１	１１３
平均年齢(歳)	59.6	55.8	50.8	47.8	35.7	29.6	24.7	46.4	38.4

(3) 階級別勤続年数状況

令３．４．１現在

階級／年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防職員	合計
５年未満							１１		１１
5年以上～10年未満					３	１０	１２		２５
10年以上～15年未満					１６	２			１８
15年以上～20年未満				５	９				１４
20年以上～25年未満				６	１			１	８
25年以上～30年未満		１	３	１５	２				２１
30年以上～35年未満		３	５	２	１				１１
３５年以上	１	１		３					５
合計	１	５	８	３１	３２	１２	２３	１	１１３
平均勤続年数(年)	39.0	33.0	30.1	26.5	14.8	7.5	4.3	24.0	17.3

(4) 特殊技能資格取得状況

令3．4．1現在

種別			取得者数
車両	大型（普通）		87
	中型		3
	普通		23
2級小型船舶操縦士			28
潜水士			31
自動車整備士	2級	ガソリン	2
		ディーゼル	2
無線技士		第2級	102
		レーダー	1
小型移動式クレーン講習			71
玉掛技能講習			92
ガス溶接作業者			13
タンク底部板厚測定講習			2
特定化学物質等作業主任者			7

種別		取得者数
救急救命士		43
認定	気管挿管	24
	薬剤投与	29
救急隊員	標準課程	80
	Ⅱ課程	11
	応急手当指導員	82
	外傷セミナー受講者（JPTEC）	80
	集団災害研修受講者（MCLS）	32
危険物取扱者	甲種	3
	乙種	8
	丙種	81
消防設備士乙種	6類	11
	7類	1
予防技術検定	防火査察	45
	消防用設備	18
	危険物	23

(5) 諸手当状況

令3．4．1現在

手当	単位	金額		手当	単位	金額	
火災・救助出動	1回	はしご隊員	300円	救急出場	1回	救急救命士	500円
		その他隊員	200円			救急救命士（不搬送時）	200円
潜水業務	1回	潜水隊員	1,500円			その他隊員	200円
災害業務手当	日額	緊急消防援助隊派遣隊員	500円	海上危険	1回	隊員	1,000円

(6) 消防関係表彰状況

令2．4．1～令3．3．31

表彰者とその種別 ＼ 被表彰者		消防吏員	元吏消防員	消防団員	元団消防員	一般人	団体
叙勲	叙勲瑞宝単光章				3		
	危険業務従事者叙勲瑞宝双光章						
消防庁長官	永年勤続功労章	1		2			
	功労章						
県知事	顕功章	1					
	功績章			4			
	精勤章	1		7			
	無火災表彰						
	現場表彰						
	退職消防団員報償				5		
	感謝状						
市長	市政功労						
日本消防協会長	功績章			2			
	精績章			3			
	勤続章	4		6			
県消防協会長	功績青花章			4			
	功績黄花章			4			
	勤続緑花章	3		34			
	勤続銀章			17			
	赤色章			2			
	青色章			1			
	黄色章			1			
	永年勤続退職者感謝状		2	13			
全国消防長会	永年勤続功労	2					
	特別功労						

(7) 教養・研修状況

令3．3.31現在

区分 ＼ 年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
消防大学校	新任消防長科						
	予防科						
	火災調査科	1					1
	新任教官科		1				1
	幹部科	1	2	1			4
県消防学校	初任科	7	4	2	2		15
	危険物課程		2		2		4
	予防査察科	2		2		2	6
	火災調査科		2		2		4
	救助科		2		2		4
	救急科	3	3	2		1	9
	機関員養成講習	4	4	3	4	4	19
	水難救助科	2		2		2	6
	特殊災害科	2		2		2	6
	警防科	2	2	2	2	2	10
	初級幹部科	2		2		2	6
	中級幹部科		2		2		4
	上級幹部科	2		2		2	6
その他	救急救命研修所	1			1	1	3
	指導救急救命士講習						
	薬剤投与追加講習						
	救命士追加講習（2処置）	5	5	5	3		18
	玉掛技能講習	2	2	2	1		7
	小型移動式ｸﾚｰﾝ運転技能講習	2	2	2	3	3	12
	ｶﾞｽ溶接作業技能講習						
	二級小型船舶操縦士技能講習	1	1	1	1	1	5

（１）　無線局の現況

本部・署所　　令３．４．１現在

配置	呼び出し名称	種別	実装波 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	出力	備考
本部	いみずほんぶ	基地局	○								10w	第１装置
				○							〃	第２装置
					○						〃	第３装置
						○					〃	第４装置
							○	○	○		〃	第５装置
			○	○	○	○	○	○	○		〃	第６装置
射水	いみず　しき　1	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	○		10w	指揮車
	〃　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	普通ポンプ車
	〃　2		○	○	○	○	○	○	○		〃	水槽付ポンプ車
	〃　かがく　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	化学車
	〃　はしご　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	梯子車
	〃　きゅうじょ　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	救助工作車
	〃　はんそう　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	搬送車
	〃　しえん　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	支援車
	〃　ささつ　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	査察車
	〃　〃　2		○	○	○	○	○	○	○		〃	〃
	〃　きゅうきゅう　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	高規格救急車
	〃　〃　3		○	○	○	○	○	○	○		〃	〃
	〃　101～114		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
大門	いみず　3		○	○	○	○	○	○	○		10w	普通ポンプ車
	〃　きゅうきゅう　2		○	○	○	○	○	○	○		〃	高規格救急車
	〃　201～204		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
新湊	いみず　しき　2		○	○	○	○	○	○	○		10w	指揮車
	〃　4		○	○	○	○	○	○	○		〃	水槽付ポンプ車
	〃　5		○	○	○	○	○	○	○		〃	普通ポンプ車
	〃　6		○	○	○	○	○	○	○		〃	普通ポンプ車
	〃　きゅうじょ　2		○	○	○	○	○	○	○		〃	救助工作車
	〃　げんえき　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	泡原液搬送車
	ぼうそういみずしょうぼう　2									○	〃	〃
	いみず　ささつ　3		○	○	○	○	○	○	○		〃	査察車
	〃　きゅうきゅう　4		○	○	○	○	○	○	○		〃	高規格救急車
	〃　しんみなとしょうぼう　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	卓上型
	〃　301～312		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
	ぼうそういみずしょうぼう103									○	〃	〃
東部	いみず　7		○	○	○	○	○	○	○		10w	普通ポンプ車
	〃　きゅうきゅう　5		○	○	○	○	○	○	○		〃	高規格救急車
	〃　こうしょ　1		○	○	○	○	○	○	○		〃	屈折放水塔車
	ぼうそういみずしょうぼう　1									○	〃	〃
	いみず　401～404		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
	ぼうそういみずしょうぼう101,102									○	〃	〃

実装波

（デジタル）①活動波１　②活動波２　③活動波３　④主運用波　⑤統制波１　⑥統制波２　⑦統制波３　（アナログ）⑧防災相互波

消防団　　令３．４．１現在

配置	呼び出し名称			種別	実装波 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	出力	備考
北部方面団	ほうじょうづ	ぶんだん	1	陸上移動局	○	○	○	○	○	○	○	10w	普通ポンプ車
	しんみなと	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	しょうせい	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	つかはら	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	つくりみち	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	かたぐち	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	しちみ	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	ほりおか	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	えびえ	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	ほんごう	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
南部方面団	ひばり	ぶんだん	1		○	○	○	○	○	○	○	10w	普通ポンプ車
	さんが	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	はしげじょう	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	かなやま	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	おうご	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	くろがわ	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	いけだ	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	たいこうやま	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	なかみなみたいこうやま	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	だいもん	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	くした	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	あさい	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	みとだ	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	ふたくち	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	おおしま	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	しも	〃	1		○	○	○	○	○	○	○	〃	〃

実装波
（デジタル）
①活動波１
②活動波２
③活動波３
④主運用波
⑤統制波１
⑥統制波２
⑦統制波３

（2）通信施設系統図

【指令システム】
【消防本部】

情報系LAN

通信系LAN

長時間録音装置

表示盤PC（VIS）

署所監視カメラPC

事案プリンタ

カラープリンタ

スキャナ

データ修正装置

気象表示用PC

気象WEBサーバー

制御系サーバー（DBX）

気象情報収集装置

システム監視装置

指令電送装置

支援情報制御装置（OAサーバ）

支援情報端末装置（OAクライアント）

OAプリンタ

支援情報系LAN

支援情報LAN向けルータ

自動出動指定装置

地図検索装置

支援情報表示装置

分離型操作部

一体型操作部

指令台【主席】

自動出動指定装置

地図検索装置

支援情報表示装置

分離型操作部

一体型操作部

指令台【副席】

自動出動サーバー

予備サーバー

出動車両運用管理装置（AVM CNT）

出動車両用ルータ

AVM署所配信ルータ（L2 VPN）

AVM系LAN

音声合成装置

災害状況等自動案内装置

統合型位置情報表示装置

位置情報ルータ

（IP-VPNルータ）

COM/LAN変換装置（RASサーバ）

アナログモデム

回線転換器

ターミナルアダプタ（TA）

車両運用表示盤

総合情報表示盤

多目的表示盤

災害情報表示盤

【作戦会議室】

映像制御装置

119補助受付装置

119FAX受信装置

指令制御装置

VPNルータ

光回線終端装置（ONU）

IDF

既設MDF

緊急INS回線（固定/IP/携帯119/衛星）
ISDN回線（携帯119転送受付回線）
ISDN回線（携帯119転送回線）
専用回線
局線
内線

指令回線（NTTビジネスイーサ網）

フレッツ光ネクスト回線

ISDN回線（災害案内）
ISDN回線（リモートメンテナンス）

IP-VPN（位置情報通知）回線

【本署】

指令プリンタ

AVM署所配信ルータ（L2 VPN）

指令情報出力装置（FSAT）

署所端末装置

無線LANアクセスポイント（AP）

【各消防署・出張所】

光回線終端装置

VPNルータ

署所端末受令機

署所受令機

署所端末装置

指令プリンタ

AVM署所配信ルータ（L2 VPN）

指令情報出力装置（FSAT）

無線LANアクセスポイント（AP）

監視カメラ

支援情報端末装置（OAクライアント）

OAプリンタ

【車載装置】

車両運用端末装置（Ⅲ型ナビ）

車載無線装置

【デジタル無線システム】
【基地局設備】

2段コーリニア型空中線

同軸避雷器

管理監視装置

無線統制台

無線回線制御装置

基地局無線装置

空中線共用装置

【移動局・受令設備】

携帯無線装置

卓上型無線装置

卓上型受令装置

(3) 119番着信状況

種別＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計
火　災	2	0	0	6	3	4	8	0	0	0	13	6	42
救　急	229	251	248	217	204	221	228	262	237	234	242	256	2,829
救　助	3	4	1	2	0	2	2	2	2	1	1	1	21
警戒等	2	5	1	7	8	4	7	5	10	4	6	7	66
他市転送	8	2	8	17	16	13	9	16	9	8	12	12	130
間違い	37	26	26	21	35	37	35	41	29	46	29	34	396
その他	52	69	104	83	53	104	88	70	98	131	152	90	1,094
合　計	333	357	388	353	319	385	377	396	385	424	455	406	4,578
119FAX	1	1	2	1	1	2	2	0	1	3	0	0	14

(4) 消防テレホンガイド利用状況

種別＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合　計
消防テレホンガイド受信数	649	411	370	1,474	1,176	967	1,005	512	664	684	1,989	1,532	11,433

(5) 最近5年間の災害119番着信状況

	災害種別＼年	平成28年	計	平成29年	計	平成30年	計	令和元年	計	令和2年	計
固定電話	火　災	8	843	8	845	13	851	2	553	7	590
	救　急	785		777		791		529		543	
	救　助	15		11		14		7		6	
	警戒等	35		49		33		15		34	
IP電話	火　災	6	1,024	10	1,176	15	1,248	4	1,224	7	1,190
	救　急	1,004		1,154		1,216		1,206		1,175	
	救　助	3		3		1		4		3	
	警戒等	11		9		16		10		5	
携帯電話	火　災	24	1,005	11	1,097	27	1,251	13	1,260	28	1,178
	救　急	932		1,030		1,170		1,206		1,111	
	救　助	22		19		14		11		12	
	警戒等	27		37		40		30		27	
合　計			2,872		3,118		3,350		3,037		2,958

(6) 火災警報・注意報発令状況

火災注意報発令	2　回
火災警報発令	0　回

予　防　編

1 防　火　対　象　物

(1) 防火対象物の状況

令3．4．1現在

区分 / 令別表区分			法17条対象物（150㎡以上）	中高層建築物 3階	4階	5階	6階	7階以上	31m以上	計
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	8		1					1
	ロ	公会堂又は集会場	95	8						8
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1	1						1
	ロ	遊技場又はダンスホール	8			1				1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗								
	ニ	カラオケボックスその他遊興								
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの	8	1						1
	ロ	飲食店	78	5						5
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗	176	10	1					11
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	18	3				2		5
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	439	83	48	19	2	4		156
6	イ	病院・診療所又は助産所	67	9	5	2		1		17
	ロ	老人短期入所施設等	48	5	2			1		8
	ハ	老人ディサービスセンター等	77	1	1					2
	ニ	幼稚園・特別支援学校	5							
7		小・中学校・高等学校・高専・各種学校	97	25	11	2		1	1	40
8		図書館・博物館・美術館	6							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	1							
	ロ	イ、に掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	7	1						1
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3							
11		神社・寺院・教会	125	1			1	1		3
12	イ	工場又は作業場	957	41	6	3		1		51
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場	79							
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
14		倉庫	676	14	7					21
15		全各号に該当しない事業場	575	56	13	3	2			74
16	イ	1～4、5イ、6、9イの複合用途防火対象物	82	25	4	4	2			35
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	77	11	2					13
17		文化財	2							
合計			3715	300	101	34	7	11	1	454

(2) 予防査察と防火管理の状況

令3．4．1現在

区分 / 令別表区分			査察件数	防火管理者				消防計画	
				選任必要対象物		届出数	届出率(%)	届出数	届出率(%)
				甲	乙				
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	3	6		6	100	6	100
	ロ	公会堂又は集会場	20	62	48	74	67	64	58
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ			1	1	100	1	100
	ロ	遊技場又はダンスホール	6	8		8	100	8	100
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ	カラオケボックスその他遊興							
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの		7	3	9	90	8	80
	ロ	飲食店	3	22	39	40	66	30	49
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗	27	78	33	77	69	67	60
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	4	11	1	12	100	12	100
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	1	42	3	17	38	11	24
6	イ	病院・診療所又は助産所	1	26	2	26	93	26	93
	ロ	老人短期入所施設等	7	42		41	98	41	98
	ハ	老人ディサービスセンター等	43	42	5	47	100	47	100
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	5		5	100	5	100
7		小・中学校・高等学校・高専・各種学校	17	41		40	98	39	95
8		図書館・博物館・美術館	1	1	2	2	67	2	67
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	1	1		1	100	1	100
	ロ	イ、に掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	4	5	7	78	7	78
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場							
11		神社・寺院・教会	11	83	21	27	26	21	20
12	イ	工場又は作業場	97	98		92	94	74	76
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫又は駐車場		5		5	100	5	100
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14		倉庫	10	30	1	27	87	21	68
15		全各号に該当しない事業所	35	86	13	88	89	78	79
16	イ	1～4、5イ、6、9イの複合用途防火対象物	13	52	4	37	66	33	59
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2	25		20	80	20	80
17		文化財		1	1	1	50	1	50
合計			306	778	182	710	74	628	65

(3) 消防用設備等の設置状況

令3．4．1現在

令別表区分 ＼ 消防用設備等			屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	動力消防ポンプ設備	屋外消火栓設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備消防機関へ通報する	非常警報設備	避難器具	誘導灯	連結送水管	消防用水
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	5					7			5		8		
	ロ	公会堂又は集会場	10	1				66		3	88	7	112		
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ									1		1		
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	1	1			8		1	6	1	7	1	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗													
	ニ	カラオケボックスその他遊興													
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの	2					6				3	8		
	ロ	飲食店	1					19			31	7	74		
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗	12	5	1		1	81	1		48		145		1
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	4					18		8	3	4	16	2	
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	9					53		4	9	88	14	6	
6	イ	病院・診療所又は助産所	2	6	1			31		11	7	5	65	2	
	ロ	老人短期入所施設等	1	47	1			48		48	16	6	48	1	
	ハ	老人ディサービスセンター等	6	2				54		28	16	3	75		
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1					5					5		
7		小・中学校・高等学校・高専・各種学校	52		1		2	79	2	9	20	12	10	2	2
8		図書館・博物館・美術館	1		1			2			1		2		
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	1					1		1	1		1		
	ロ	イ、に掲げる公衆浴場以外の公衆浴場						3	3		5		6		
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場						1							
11		神社・寺院・教会	3		1		2	6	1		53		8	2	1
12	イ	工場又は作業場	201		20	6	46	492	2		3	3	75	1	33
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ													
13	イ	自動車車庫又は駐車場			4			9			1		24		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫													
14		倉庫	113		2		15	303				4	88		8
15		全各号に該当しない事業所	55		8		4	122	1	5	68	15	56	2	1
16	イ	1～4、5イ、6、9イの複合用途防火対象物	10	9	2		1	58	2	10	25	24	53	3	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	18		1		7	39	1		2	2	7		3
17		文化財						2			1		1		
合計（対象物）			511	71	44	6	78	1513	13	128	410	184	909	22	51

(4) 建築同意事務処理件数

内訳＼年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新築	329	224	133	157	107
増築	41	41	44	35	19
改築	2	2		1	3
移転		1		2	
用途変更	5		5	4	
その他					
合計	377	268	182	199	129

(5) 予防関係届出状況

区分＼年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
消防法	防火管理者選（解）任	131	174	174	77	118
	消防計画作成（変更）	171	205	205	106	159
	消防用設備等	439	394	394	206	356
	消防用設備等点検結果報告	530	657	657	423	729
	圧縮アセチレンガス等	22	14	14	19	15
射水市火災予防条例	防火対象物の使用開始	103	110	110	89	100
	炉・ボイラー	33	25	25	8	19
	ヒートポンプ冷暖房機		3	3	8	1
	乾燥設備、サウナ設備	4	7	7	2	2
	火花を生じる設備					
	放電加工機					
	発電、変電、蓄電池設備	61	46	46	24	55
	水素ガスを充てんする気球					
	ネオン管灯設備					
	少量危険物	46	51	51	32	18
	指定可燃物	8	13	13	5	13
	火災とまぎらわしい煙	96	66	66	23	26
	煙火打上げ、仕掛け	17	16	16	11	6
	催物開催	17	24	24	14	3
	用水、水道の断水、減水	11	3	3	7	4
	道路使用、工事及び露店開設	340	299	299	321	194
	例外適用	13	19	19	5	7
合計		2，042	1,953	2,126	1，372	1，825

2 危　　険　　物

(1) 危険物施設状況

令３．４．１現在

製造所等 ＼ 倍数等		製造所	貯蔵所							取扱所				合計
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般	
倍数別	5倍以下		33	22	5	38	2	88	6	5			41	240
	5倍を超え 10倍以下	2	21	22	2	30		1	1	7			28	114
	10 〃 50 〃	5	7	42		14		4	1	46	1		16	136
	50 〃 100 〃		5	15		4		4		5			3	36
	100 〃 150 〃	1		4				1		6				12
	150 〃 200 〃			4		1				10				15
	200 〃 1000 〃	1	1	6				2		14				24
	1000 〃 5000 〃	1	1	1									2	5
	5000倍を超えるもの		2	8								1	1	12
合計		10	70	124	7	87	2	100	8	93	1	1	91	594
類別	第 1 類		2										1	3
	第 2 類	2	3											5
	第 3 類		1	1										2
	第 4 類	5	60	123	7	87	2	100	8	93	1	1	87	574
	第 5 類													
	第 6 類													
	混在	3	4										3	10
合計		10	70	124	7	87	2	100	8	93	1	1	91	594

(2) 危険物規制事務の状況

令2．4．1～令3．3．31

製造所等 ＼ 法規制等		製造所	貯蔵所							取扱所				その他	合計
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般		
許可	設置		4	1				5	1	1			2		14
	変更	8	2	10				4		8			23		55
完成検査前検査	溶接														
	水張・水圧				2										2
完成検査	設置			1				5		1			2		9
	変更	8	2	10				4		8			26		58
仮貯蔵・仮取扱														73	73
仮使用		7	2							4			21		34
氏名・名称・住所変更			24	47		21		7	3	19			56		177
種類・数量変更		1		2					1				6		10
廃止			1	1		6		7					2		17
保安監督者選任・解任			10	23	1	5				16			25		80
工事施工		1	1	13						3			276		294
予防規程制定・変更										12					12
公安委員会通報		2	2										2		6
譲渡・引渡								2		3				1	6
使用休止・再開				2		4		1		2					9
施設変更		2	1	7		1		8		31			33		83
保安検査															
立入検査	施設数		19	39	1	29		97	1	30			41	52	309
	延回数		19	39	1	29		103	1	30			41	52	315
	延人員		56	107	2	68		441	3	67			131	178	1053

(3) 危険物施設別法規制

令3．4．1現在

法規制等 ＼ 製造所等		危険物施設数	危険物保安監督者を要する施設	危険物施設保安員を要する施設	予防規程を要する施設	保安検査を要する施設	定期点検を要する施設
製造所		10	10	3	8		8
貯蔵所	屋内貯蔵所	69	59				4
	屋外タンク貯蔵所	124	124		17	7	17
	屋内タンク貯蔵所	7					
	地下タンク貯蔵所	87	10				87
	簡易タンク貯蔵所	2	2				
	移動タンク貯蔵所	100					100
	屋外貯蔵所	8					
	小計	407	205	3	25	7	216
取扱所	給油取扱所	93	93		31		91
	販売取扱所	1	1				
	移送取扱所	1	1	1	1	1	1
	一般取扱所	91	63	3	20		21
	小計	186	158	4	52	1	113
合計		593	363	7	77	8	329
事業所の数		243					

3 広　　報

(1) 広報活動状況

活動内容＼年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	令和２年度
防火教室	３３	５４	２９	２７	１９
防火パレード	２	４	２	０	３
巡回広報	１７２	５６５	３６７	１３６	３６４
避難訓練	３３１	５１１	３３４	１４８	１２３
初期消火訓練	３２９	４３７	２８４	１４７	１１９
合計	８６９	１，５７１	１，０１６	４５８	６２８

(2) 住宅防火診断等の結果

区分＼年度		平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	令和２年度
調査自治会数		８１	２５５	１４７	１４	０
調査戸数		２，９８１	２，５３９	１，６２０	２０２	０
指示事項	ガス関係	５３	１４	１８	６	０
	石油関係	１８	１２	１８	３	０
	暖房器具	１３	１４	３	３	０
	その他	１，７２２	１，４３９	７９４	９７	０
合計		１，８０６	１，４７９	８３３	１０９	０

警　防　編

1 消 防 機 関 の 出 動

(1) 災害等出動状況

令２．１．１～令２．１２．３１

出動／区分	消防署		消防団	
	回数	出動延人員	回数	出動延人員
火災	１４	３２１	１２	４９５
救急	２，９４２	８，８５６		
救助活動	５０	２８０		
風水害等の災害	２	６	１	３
捜索	１	９		
特別警戒	４４	７０	４０９	２，２６３
演習・訓練等	８４	７９８	４７	８４４
広報・指導	５００	１，０５１	３２６	５，２８８
警防調査	１１２	３１０	４	３６
火災原因調査	２２	７６		
予防査察	３０２	６９６		
誤報等	２８	１８１		
その他	２０４	１，０３４	７	５６
合計	４，３０５	１３，６８８	８０６	８，９８５

2．機械及び施設

(1) 消防車両の現況

令３．４．１現在

所属	車両名	形状等	車名	ポンプ		購入年月
				メーカー	級別	
消防本部・射水消防署	射水指揮１	指揮車	トヨタ			H17.2
	射水１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	日野	モリタ	A-2	H31.3
	射水２	水槽付消防ポンプ車(Ⅰ－A 型)	日野	モリタ	A-2	H26.2
	射水化学１	化学消防ポンプ車（Ⅱ型）	日野	長野	A-2	H30.2
	射水梯子１	はしご車(30m級)	日野			H28.10
	射水救助１	救助工作車（Ⅱ型）	日野			H15.12
	射水搬送１	資機材搬送車	トヨタ			H29.11
	射水支援１	支援車（Ⅰ型）	日野			H23.2
	射水査察１	査察車	トヨタ			H20.11
	射水査察２	査察車	トヨタ			H24.12
	射水救急１	高規格救急車	トヨタ			R1.11
	射水救急３	高規格救急車	トヨタ			H30.10
	射水指令１	指令車	トヨタ			H14.4
大門出張所	射水３	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	日野	モリタ	A-2	H27.9
	射水救急２	高規格救急車	ニッサン			R3.2
新湊消防署	射水指揮２	指揮車	トヨタ			H24.2
	射水４	水槽付消防ポンプ車(Ⅰ－A 型)	日野	モリタ	A-2	H22.11
	射水５	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H13.12
	射水６	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	日野	モリタ	A-2	H27.9
	射水救助２	救助工作車(Ⅱ型)	日野			H27.2
	射水原液１	泡原液搬送車 5000ℓ	日野			R2.2
	射水査察３	査察車	トヨタ			H30.1
	射水査察４	連絡車	スズキ			H28.7
	射水搬送２	隊員搬送車 (マイクロバス 25 人乗)	いすゞ			H10.1
	射水搬送３	資機材搬送車	いすゞ			H5.12
	射水救急４	高規格救急車	ニッサン			H25.1
東部出張所	射水７	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	日野	日本機械	A-2	H21.2
	射水高所１	大型化学高所放水車	日野	モリタ	A-1	R3.2
	射水広報１	広報車	トヨタ			H11.2
	射水救急５	高規格救急車	トヨタ			H26.9

所属	車両名	形状等	車名	ポンプ		購入年月
				メーカー	級別	
北部方面団	放生津分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	日本機械	A-2	H18.12
	新湊分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	日本機械	A-2	H18.12
	庄西分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H26.11
	塚原分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H30.9
	作道分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H29.10
	片口分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H25.9
	七美分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H26.11
	堀岡分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H28.4
	海老江分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H27.10
	本江分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H24.10
南部方面団	戸破分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	トヨタ	長野	A-2	H16.3
	三ケ分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	長野	A-2	H13.2
	橋下条分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	長野	A-2	H12.1
	金山分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	R3.3
	大江分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	トヨタ	モリタ	A-2	H16.3
	黒河分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H29.10
	池多分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	日野	長野	A-2	H20.1
	太閤山分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	日野	長野	A-2	H20.1
	中・南太閤山分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	R2.10
	大門分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	R1.12
	櫛田分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H29.1
	浅井分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	三菱	モリタ	A-2	H12.6
	水戸田分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	三菱	モリタ	A-2	H12.6
	二口分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H14.10
	大島分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	H30.9
	下分団１	消防ポンプ車(CD－Ⅰ型)	いすゞ	モリタ	A-2	R1.12
その他	下搬送車	資機材搬送車	三菱			H10.11
	金山積載車	小型動力ポンプ積載車	いすゞ			H13.10
	堀岡広報車	広報車	トヨタ			H28.3
	救助資機材積載車	小型動力ポンプ積載車	いすゞ			H22.7
	消防団広報車	広報車	ニッサン			H27.12

（2）特殊資器材等の保有状況

令３．４．１現在

	資器材名	数量		資器材名	数量
救助用	空気呼吸器	６７	化学・消火用	合成界面活性剤 (ℓ)	１，３７９
	酸素呼吸器	2		水性膜泡消火 (ℓ)	１４，３９０
	送排風機	4		油処理剤 (ℓ)	２２５
	油圧ジャッキ（ポートパワー）	3		油処理剤 (kg)	１，０６５
	可搬ウインチ	6		油吸着マット (kg)	３４６
	マット型空気ジャッキ	4		オイルフェンスＡ型 (m)	１６０
	油圧スプレッダー（大型含む）	5		消防用ホース ５０ ミリ	２１１
	油圧切断機（大型含む）	7		〃 ６５ ミリ	３００
	エンジンカッター	7		〃 ７５ ミリ	１８
	ガス溶断器	4		〃 １００ ミリ	5
	チェンソー	4		泡ノズル管鎗	１０
	鉄線カッター	１３		ラインプロポーショナー	4
	空気鋸（エアソー）	4		放水銃（フォグガン）	7
	万能斧	３１		高圧噴霧銃	1
	削岩機	3		大量送水ポンプ	1
	ハンマードリル	3	救急用	心肺蘇生訓練人形（成人用）	３５
	救命索発射銃	7		心肺蘇生訓練人形(乳幼児用)	１３
	救助艇（船外機付）	2		気道管理訓練人形	5
	救命ボート	4		ＡＥＤトレーナー	１７
	潜水器具（ウエットスーツ）	２５		外傷模型	2
	救命胴衣	４８		スクープストレッチャー	１７
	救命浮環	２５		バックボード	１３
	かぎ付はしご	9		イーバックチェア	7
	三連はしご	8		血圧計	8
	空気式救助マット	1		血中酸素飽和度測定器	１２
	サバイバースリングまたは救助用縛帯	２０		心電計（携帯型）	5
	可燃性ガス測定器	4		傷病者監視モニター	5
	有毒ガス測定器	3		自動式人工呼吸器	5
	放射線測定器	２９		手動式人工呼吸器	１０
	耐電衣	１２		電動式吸引器	8
	防毒衣	9		ショックパンツ	6
	耐熱服	9		自動式心臓マッサージ器	6
	バスケット型担架	6		半自動式除細動器	5
	投光器	２３		輸液ポンプ	5
	携帯拡声器	２３		オゾン殺菌装置	3
	簡易起重機	2		血糖測定器	5
				陰圧式固定マット	7

(3) 消防水利の現況

令３．４．１現在

種別 / 地区名	消火栓			防火水槽			
				有蓋		無蓋	
	適合	適合外	小計	４０ｔ以上	４０ｔ未満	４０ｔ以上	４０ｔ未満
放生津	７６	２４	１００	３２	3		
新湊	８５	２９	１１４	３９	2		
庄西	１４	１２	２６	9	1		
塚原	２９	２４	５３	３３	6		
作道	５３	４０	９３	５８	２１		
片口	３１	１０	４１	３５	4		
七美	１４	2	１６	３１	8		
堀岡	３８	１１	４９	３０	3		
海老江	４９	4	５３	３９	5		
本江	7	２７	３４	２５	9		
戸破	１２７	２５	１５２	２４			
三ケ	８５	２６	１１１	２０			
橋下条	４２	１３	５５	１６			
金山	２９	１８	４７	３０			1
大江	４３	３０	７３	２５			
黒河	４１	１１	５２	１６			
池多	１０	9	１９	１０			
太閤山	４６	１４	６０	3			
中太閤山	３８	7	４５	7			
南太閤山	３８	1	３９	9			
大門	３５	１９	５４	9			
櫛田	４９	３８	８７	１５			
浅井	４６	４６	９２	１１			
水戸田	４４	１５	５９	１５	2		1
二口	５４	２３	７７	7			
大島	１０２	１０３	２０５	４７	１０		
下	２２	１５	３７	２６	2		
合計	1,２４７	５９６	1,８４３	６２１	７６		2

統　計　編

１　火　　災　　統　　計

(1)　最近５年間の火災概要

区分＼年別			平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年
火災種別	建物火災	(件)	14	7	16	10	9
	林野火災	(件)					
	車両火災	(件)	2	2	3	3	3
	船舶火災	(件)					1
	その他火災	(件)	4	3	3	3	1
	合計	(件)	20	12	22	16	14
焼損棟数	全焼	(棟)	2	5	5	4	7
	半焼	(棟)	1	1			3
	部分焼	(棟)	5	3	5	5	3
	ぼや	(棟)	6	8	9	7	3
	合計	(棟)	14	17	19	16	16
建物焼損	床面積	(㎡)	383.1	498.4	283.8	197.6	928.7
	表面積	(㎡)	17.5	66.9	831.3	93.8	137
林野焼損面積		(ａ)					
その他焼損面積		(ａ)					
死者		(人)			4	1	
負傷者		(人)	2	2	7	2	4
り災世帯		(世帯)	1	12	7	6	17
り災人員		(人)	7	35	24	7	33
損害額		(千円)	20,951	32,141	176,228	126,339	80,679
出火率			2.1	1.3	2.4	1.7	1.5
全火災１月当たり	出火件数	(件)	1.7	1	1.8	1.3	1.2
	損害額	(千円)	1,745.9	2,678.4	14,685.7	10,538.3	6,723
	建物焼損 床面積	(㎡)	31.9	41.5	23.7	16.5	77.4
	建物焼損 表面積	(㎡)	1.5	5.6	69.3	7.8	11.4
全火災１件当たり損害額		(千円)	1,047.6	2,678.4	8,010.4	7,896.2	5,763
建物火災１件当たり	損害額	(千円)	1,358.7	2,996.3	10,919.8	12,633.9	8,923
	建物焼損 床面積	(㎡)	27.4	71.2	17.7	19.8	103.2
	建物焼損 表面積	(㎡)	1.3	9.6	52	9.4	15.2

※　出火率とは、人口１万人当たりの出火件数をいう。

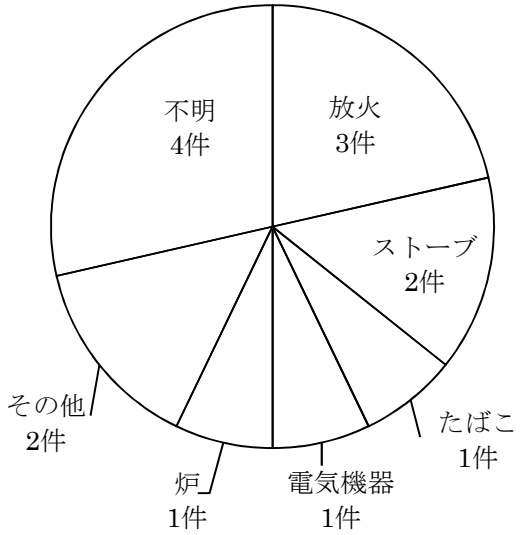
※　床面積とは、床と壁、壁と天井など立体的に燃えた場合の面積をいう。

※　表面積とは、床だけ、壁だけ、天井だけなど平面的に燃えた場合の面積をいう。

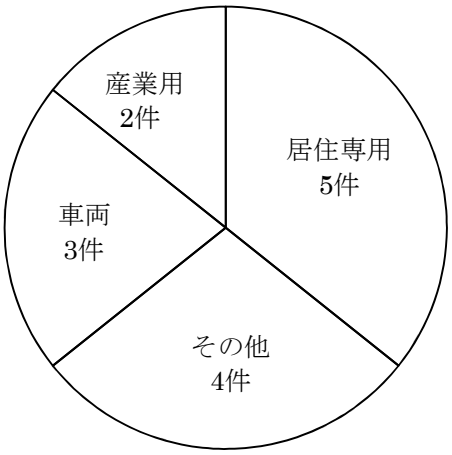
※　出火件数の（　）内は、爆発による件数をいう。

(2) 令和２年中の火災概要　　(出火件数合計件)

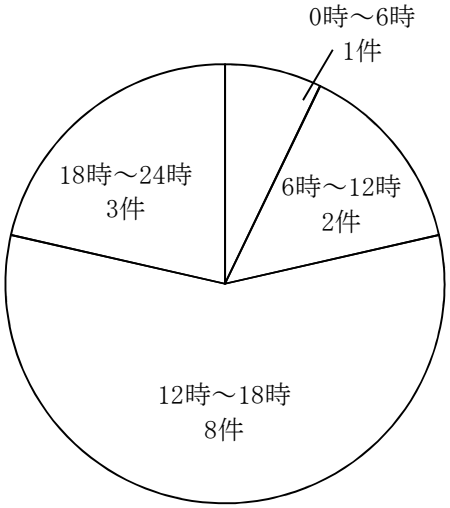
ア　原　因　別



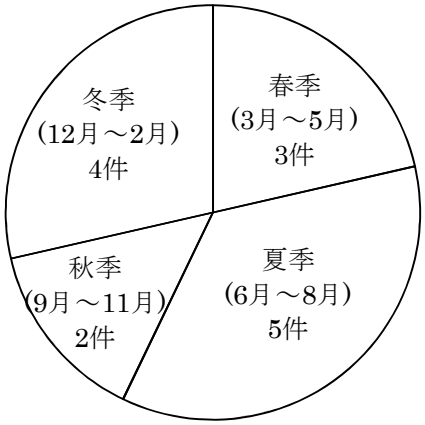
イ　用　途　別



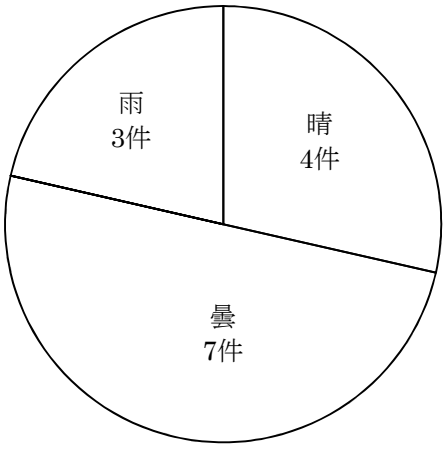
ウ　時　間　別



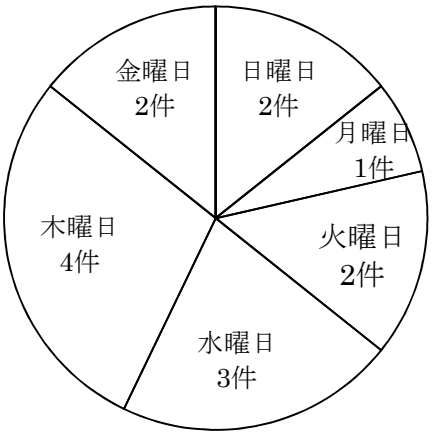
エ　季　節　別



オ　天　候　別



カ　曜　日　別



出火原因別火災発生状況

令和２年の火災件数　１４件

令２．１．１～令２．１２．３１

出火日	火災種別	出火原因　（発火源等）	出　火　概　要
1月1日	建物	その他	人為的ミスにより炉体とレードルの中心がずれ、溶湯が炉体下のＶＲＦ台車に落下し焼損したもの。
1月15日	建物	炉	内部に溜まった灯油がバーナーに熱せられて引火し、通気口より外部に排出されたことにより周囲の電気機器類を焼損したもの
4月2日	建物	たばこ	たばこの無煙燃焼により、空き瓶が割れ周囲の可燃物に延焼したもの。
5月12日	車両	不明	機関部のスターター電源端子部及び同配線部の焼損が激しいが、物的証拠及び供述が得られず、合理的に出火原因を判定するに至らず。
5月14日	船舶	放火	物的証拠及び供述は得られなかったものの、総合的に判断し、放火と推定。
6月7日	その他	不明	車両スクラップが置かれていた場所の焼損が激しいが、物的証拠及び供述が得られず、合理的に出火原因を判定するに至らず。
7月2日	車両	排気管	軽自動車がグラウンドでスタックし脱出を試みていたところ、車体が下がり車両底部にある高温マフラーとグラウンドの枯草が接触し発火したもの。
7月14日	建物	ガスライター	住宅入居者が自損行為をしようと、南側６畳間で灯油をかぶり、ガスライターで床のカーペットに火をつけたもの。
7月16日	車両	電気機器	車両のバッテリーを交換した際に、バッテリーの取付けが不良であったため、振動で固定金具が移動し、プラス側バッテリーターミナルに接触し短絡したため発火、バッテリーターミナルカバーに着火したもの。
7月20日	建物	マッチ・ライター	住宅入居者がスーツカバー及びカーペット上にあった衣類にライターで火をつけたもの。
11月11日	建物	ストーブ	電気ストーブに新聞紙が触れて着火し、周囲の可燃物に延焼したもの。
11月20日	建物	ストーブ	石油ストーブ上にパーマロッドを置いていたことにより、ロッドが燃え、周囲の可燃物に延焼したもの。
12月6日	建物	不明	乗用車が走行中に車庫へ突っ込み、エンジンルームより出火し車庫へ延焼したもの。出火原因については特定できず。
12月11日	建物	不明	石油ファンヒーター温風吹出口に衣服等が接触し発火した可能性が高いが、出火元にいた関係者が入院中であり、確実な物的証拠が得られないため出火原因を判定するに至らず。

(4) 火災による死傷者状況（過去3年間）

年別	出火日時	死傷者の発生した場所				死傷者		
		用途	構造	焼損程度	出火箇所	性別	年齢(歳)	程度
平成三十年	2月13日 0時30分ごろ	専用 住宅	木造	全焼	居室	男	８０	死亡
						女	７６	軽傷
	2月17日 7時15分ごろ				客席	男	４０	死亡
	2月19日 6時30分ごろ	工場	準耐	ぼや	製造工場	男	５４	重症
	4月25日 18時00分ごろ	工場	準耐	部分焼	加工工場	男	３９	軽傷
	5月24日 18時30分ごろ	工場	準耐	ぼや	車庫	男	４１	軽傷
	6月7日 22時07分ごろ	専用住宅	木造	ぼや	食事室	女	４０	軽傷
	11月9日 5時00分ごろ				その他	男	５５	軽傷
	11月11日 6時50分ごろ	複合建築物	準耐	ぼや	飲食店部分	女	８３	軽傷
	11月21日 5時15分ごろ	専用住宅		ぼや	居室	女	７７	死亡
	12月21日 12時05分ごろ				空地	男	６２	死亡
令和元年	2月27日 18時10分ごろ				畑	男	９０	死亡
	6月19日 14時40分ごろ	工場	準耐	ぼや	溶融工場	男	４１	重症
	8月5日 20時00分ごろ				運転室	男	４６	重症
令和二年	7月14日 21時05分ごろ	共同住宅	耐火	部分焼	居室	女	３３	軽症
	11月11日 8時25分ごろ	専用住宅	木造	全焼	居室	女	９１	軽症
	11月20日 8時10分ごろ	居住サービス業併用建築物	木造	全焼	サービス店舗部分	女	８６	重症
	12月7日 17時00分ごろ	専用住宅	木造	半焼	廊下	男	８６	重症

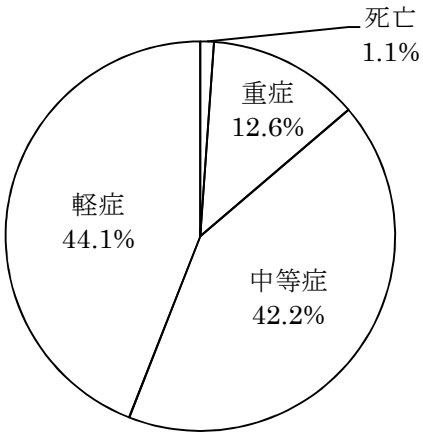
２ 救　急　統　計

(1) 最近５年間の救急概要

区分＼年別			平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年
出場件数			３，０３０	３，２６６	３，４９０	３，１４１	２，９４２
搬送人員			２，８４０	３，０９０	３，３４７	３，０１７	２，８４９
不搬送件数			２２１	２１０	１７９	１４４	１３５
出場件数内訳	火災		１２	９	２５	１４	１０
	自然災害		２			１	
	水難		１１	１０	９	７	３
	交通		２７３	２８５	２４０	２５５	１９５
	労働災害		４６	６７	６７	６１	５１
	運動競技		２８	２６	３９	１９	６
	一般負傷		４５４	４７５	５２１	４８６	５３９
	加害		１０	９	１７	１０	９
	自損行為		２５	２７	２６	３０	３７
	急病		１，８７１	２，０２８	２，２１０	１，９５６	１，８１５
	その他	転院搬送	２８５	３１２	３２５	２８２	２６５
		医師搬送			２	１	１
		資器材等輸送					
		その他	１３	１８	９	１９	１１
合計			３，０３０	３，２６６	３，４９０	３，１４１	２，９４２

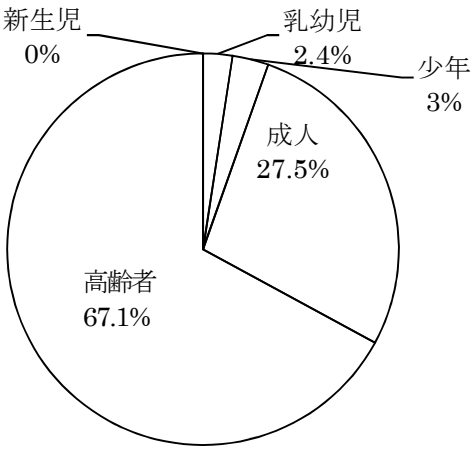
(2) 令和２年中の救急概要

ア　傷病程度別搬送状況



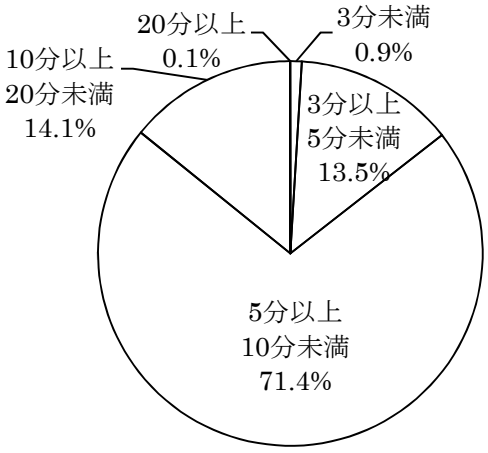
（注）軽　症：入院を必要としないもの
中等症：入院を必要とするもので重症に至らないもの
重　症：３週間以上の入院を必要とするもの
死　亡：医療機関で死亡が確認されたもの

イ　年齢別区分搬送状況



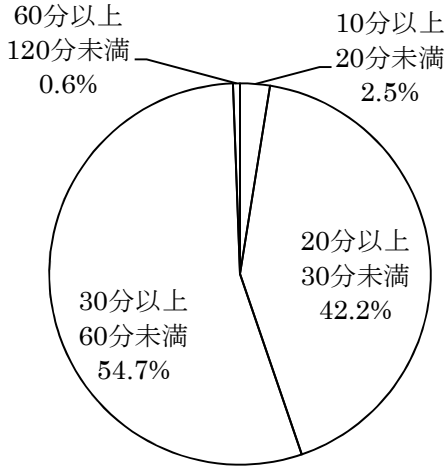
（注）新生児：生後 28 日未満の者
乳幼児：生後 28 日以上 7 歳未満の者
少　年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者
成　人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者
高齢者：満 65 歳以上の者

ウ　現場到着所要時間（分）



（注）覚知～現場到着
最長現場到着時間　２０分
現場到着平均所要時間　７分

エ　医療機関収容所要時間（分）



（注）覚知～現場～医療機関収容
最長収容時間　１０８分
収容平均所要時間　３１．５分

(3) 医療機関別搬送人員状況

令2．1．1～令2．12．31

医療機関＼事故種別			急病	うち管外	交通	うち管外	一般負傷	うち管外	その他	うち管外	計	うち管外
救急医療告示機関	国立		85	85	2	2	9	9	48	48	144	144
	公立		748	249	104	31	250	65	139	75	1,241	420
	公的		336	336	47	47	89	89	128	128	600	600
	私的	病院	566	4	72		176	1	39	17	853	22
		診療所							1	1	1	1
	小計		1,735	674	225	80	524	164	355	269	2,839	1,187
その他の医療機関	国立											
	公立											
	公的											
	私的	病院	4	3					3	1	7	4
		診療所	2						1		3	
	小計		6	3					4	1	10	4
合計	国立		85	85	2	2	9	9	48	48	144	144
	公立		748	249	104	31	250	65	139	75	1,241	420
	公的		336	336	47	47	89	89	128	128	600	600
	私的	病院	570	7	72		176	1	42	18	860	26
		診療所	2						2	1	4	1
合計			1,741	677	225	80	524	164	359	270	2,849	1,191

(4) 救急隊員の行った応急処置状況

令2. 1. 1～令2. 12. 31

区分／種別	対象人員	処置総数	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫	うち自動	心肺蘇生	うち自動	酸素吸入
急　病	1,740	8,315	12	7	14			65	44	392
交通事故	225	945	13	73				4	3	12
一般負傷	524	2,217	61	43	2			18	9	41
その他	358	1,660	20	13	4			6	4	93
合　計	2,847	13,137	106	136	20			93	60	538

区分／種別	気道確保	エアウェイ経鼻	喉頭鏡・鉗子等	ルマスク等ラリンゲア	気管挿管	保温	被覆	在宅療法継続	点滴	外瘻	その他
急　病	205		1	4		754	10	70	7	13	56
交通事故	5		1			53	15	2			2
一般負傷	29	2	4			172	86	9		2	7
その他	24					137	22	2			2
合　計	263	2	6	4		1,116	133	83	7	15	67

区分／種別	パンソショック	除細動	静脈路確保	薬剤投与	その他の処置	血圧測定	聴診器	血中酸素飽和度	心電図	静脈路確保	CPA前	CPA後
急　病		3		7	1,735	1,664	605	1,672	1,049		10	6
交通事故					214	215	83	219	37			
一般負傷				1	514	497	103	504	134		2	1
その他				1	353	352	93	351	188			1
合　計		3		9	2,816	2,728	884	2,746	1,408		12	8

区分／種別	血糖値測定	ブドウ糖投与	エピペン投与
急　病	33	2	
交通事故			
一般負傷			
その他			
合　計	33	2	

3 応急手当普及啓発

(1) 最近５年間の救命講習受講者数

種別＼年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	令和２年度	合計
上級救命講習		１４		７		２１
普通救命講習	９５０	９３２	７９９	８０１	５１	３，５３３
救命入門講習	１，１０４	１，０７４	９１１	９７７	１００	４，１６６
その他救命講習	１，０２４	１，３３２	１，２９８	１，４５５	１４６	５，２５５
応急手当普及員講習		７				７
合計	３，０７８	３，３５９	３，００８	３，２４０	２９７	１２，９８２

(2) 対象者別受講状況

平１７．１１．１～令３．３．３１

講習別＼対象者		一般市民	事業所	学校	消防団女性クラブ	合計
上級救命講習	回数	７	４	１２		２３
	受講者	９３	２５	１８１		２９９
普通救命講習	回数	２７４	４０４	２６６	２９	９７３
	受講者	４，８３４	６，１１１	５，９９１	３９６	１７，３３２
救命入門講習	回数	４３	３７	６２	１	１４３
	受講者	８７８	５０２	７，３６５	９	８，７５４
その他救急講習	回数	２８２	２５５	９７	２	６３６
	受講者	１０，０５５	６，５６５	６，９９９	１３０	２３，７４９
応急手当普及員講習	回数	４	１		４	９
	受講者	５３	１９		５８	１３０
合計	回	６１０	７０１	４３７	３６	１，７８４
	人	１５，９１３	１３，２２２	２０，５３６	５９３	５０，２６４

※ 普及員は３年毎の更新が必要であり、現在認定資格者は６０名である。

(3) 修了証交付状況 （平成１７年１１月以降）

普通救命講習修了証　　１７，３３２人
上級救命講習修了証　　２９９人

4 救　助　統　計

(1) 最近５年間の救助概要

区分＼年別		平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和2年
救助出動件数		６５	６４	６５	５４	５０
事故種別	火災	１０	7	１４	9	9
	交通事故	３１	３３	２１	１６	１３
	水難事故	１０	１０	１１	１０	9
	自然災害					
	機械による事故	2	1	2	1	1
	建物等による事故	2	1	3	4	9
	ガス及び酸欠事故					1
	破裂事故					
	その他	１０	１２	１４	１４	8
出動	車両	１４８	１６２	１４９	１１９	１１４
	人員	５０７	５４５	５５４	４３９	４０９
救助活動件数		２２	２６	２１	２６	２４
活動	車両	５３	６５	５６	７２	５９
	人員	１８３	２２７	２１０	２４４	２０４
救助人員		２４	２６	２１	２３	２６
被救助者	生存	２０	２０	１８	１９	２１
	死亡	4	6	3	4	5

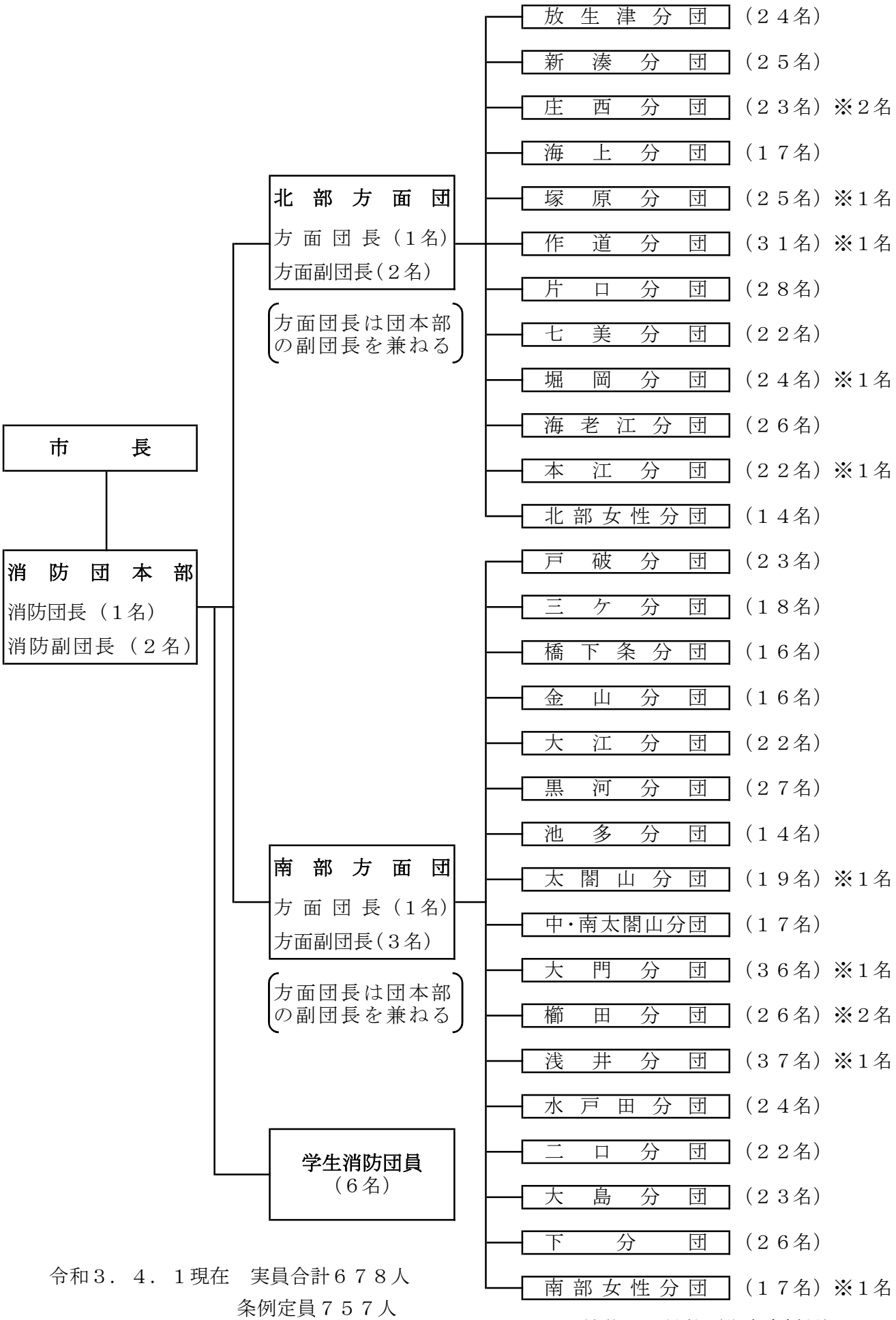
(2) 事故種別救助活動状況

令2．1．1～令2．12．31

事故種別＼救助人員等	出動件数	活動件数	救助人員			程度別人員				
			男	女	計	軽症	中等症	重症	死亡	けが無
火災	9	1	1		1			1		
交通事故	１３	4	1	4	5	1	2	1	1	
水難事故	9	7	7	1	8	1	2	1	4	
自然災害										
機械による事故	1	1		1	1		1			
建物等による事故	9	5	4	1	5		4			1
ガス及び酸欠事故	1	1	1		1		1			
破裂事故										
その他	8	5	1	4	5	2	2	1		
合計	５０	２４	１５	１１	２６	4	１２	4	5	1

消防団編

1　消防団組織図



令和３．４．１現在　実員合計６７８人
条例定員７５７人

※機能別団員数（災害支援員）

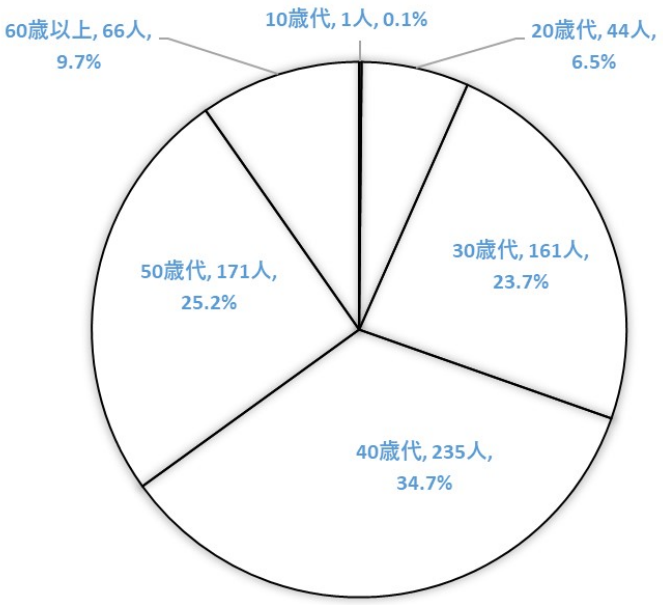
2　階級別年齢状況

令３．４．１現在

階級 / 年齢	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	合　計
20　歳　未　満							1	1
20歳以上～25歳未満							16	16
25　歳　〃　～30　歳　〃							28	28
30　歳　〃　～35　歳　〃							59	59
35　歳　〃　～40　歳　〃						9	93	102
40　歳　〃　～45　歳　〃					2	32	86	120
45　歳　〃　～50　歳　〃		1		1	12	39	62	115
50　歳　〃　～55　歳　〃			2	5	19	43	30	99
55　歳　〃　～60　歳　〃		1	9	13	17	15	17	72
60　歳　以　上	1	5	18	10	7	7	18	66
合　計	1	7	29	29	57	145	410	678
平均年齢（歳）	66.0	61.8	61.2	58.3	53.5	48.4	34.2	45.6

年　齢　構　成

団員数　　６７８人
平均年齢　４５．６歳



3　報 酬 ・ 手 当 状 況

令３．４．１現在

区分 ＼ 手当	支給単位	階級別支給金額（円）							
		団　長	副団長 方面団長	方　面 副団長	分団長	副　分 団　長	部　長	班　長	団　員
職務報酬	年　額	100,000	84,000	72,000	52,500	43,000	31,000	26,000	24,000
		機能別団員　12,000							
費用弁償	1　回	1,800 円　1 人当たり							
団員加入促進手当	年　額	分団長　20,000×29 人							

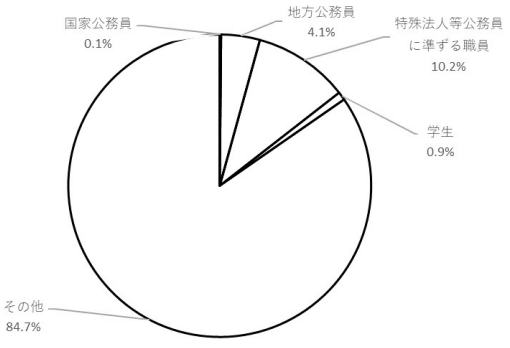
4　在 職 年 数 状 況

令３．４．１現在

5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上	合　計
１１２	１２１	１２９	１１４	８８	６０	５４	６７８

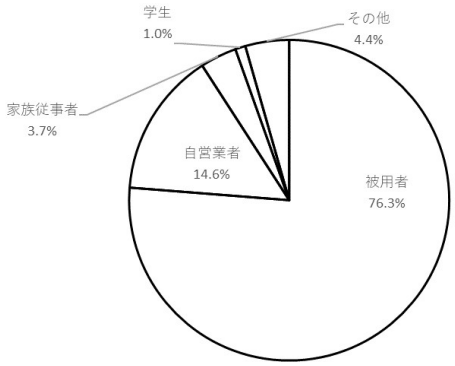
5　消防団員の職業構成及び就業形態別の状況

(1)　消防団員の職業構成



・国家公務員	１人
・地方公務員	２８人
・特殊法人等公務員に順ずる職員	６９人
・学生	６人
・その他	５７４人
	計６７８人

(2)　就業形態別の状況



・被用者	５１７人
・自営業者	９９人
・家族従業者	２５人
・学生	７人
・その他	３０人
	計６７８人

自主防災組織編

1　射水市危険物安全協会の現況

(1) 会　員　数

２４２　事業所　　令３．４．１現在

(2) 活　動　概　要

令２．４．１～令３．３．３１現在

活　動　内　容	回　数	参加延人員
総会・役員会	2	３８
消火技術競技会	0	0
防災講演会	0	0
研修会	0	0
合計	2	３８

2 私設消防団等の現況

組織数　２９組織　　団員数　４６９人　　令３．４．１現在

地区	名称	団員数
作道地区	作道　私設消防団	２４
	久々湊　〃	２６
	野村　〃	１３
	津幡江　〃	９
	今井　〃	１７
	殿村　〃	８
	西三ヶ　〃	２０
	新生町　〃	１８
	沖　〃	９
塚原地区	寺塚原　私設消防団	９
	沖塚原　〃	１２
	川口　自衛防災隊	１３
片口地区	久々江地区自主防災会	１０
大門地区	枇杷首　私設消防団	２０
浅井地区	土合　自衛消防隊	３０
	広上　〃	２５
櫛田地区	布目沢　自衛消防団	１１
	荒町　自衛消防隊	１３
水戸田地区	水戸田　〃	１０
大島地区	今開発　私設消防団	１６
	新開発　〃	１０
	赤井　〃	１４
	小林　自治消防団	１２
	北高木　自衛消防団	１０
	八塚　〃	１８
	小島地区　〃	１９
	中野　私設消防団	２５
	若杉　〃	３４
	新町自治会　自警団	１４
合計	２９組織	４６９人

3 消 防 ク ラ ブ の 現 況

(1) 幼年消防クラブ

クラブ数　２９クラブ　　クラブ員数　７２２人　　令３．４．１現在

名　　称	結 成 日	名　　称	結 成 日
新湊作道保育園　幼年消防クラブ	S60. 7.17	小杉東部保育園　幼年消防クラブ	H7. 6. 8
片口保育園　〃	S60. 7.24	大島南部保育園　〃	H7. 6.22
塚原保育園　〃	S60. 8. 1	金山保育園　〃	H7. 6.27
七美幼稚園　〃	S61.1.27	杉の子保育園　〃	H8. 6. 7
池多保育園　〃	S63.6.5	千成保育園　〃	H8. 6.12
大江保育園　〃	S63.6.18	黒河保育園　〃	H8. 6.19
あおい幼稚園　〃	H1.5.17	大門きらら保育園　〃	H12.6.28
太閤山あおい園　〃	H1.5.17	あいあい保育園　〃	H12.7.4
第３あおい幼稚園　〃	H1.5.17	堀岡保育園　〃	H15. 8. 7
射水おおぞら保育園　〃	H1.6.1	大島つばさ保育園　〃	H16. 4. 1
下村保育園　〃	H1.6.13	大門わかば幼稚園　〃	H16. 6. 1
新湊中部保育園　〃	H3.11.19	水戸田保育園　〃	H20. 4. 1
放生津保育園　〃	H3.11.20	海老江こども園　〃	H29.4.1
八幡保育園　〃	H3.12.3	新湊うみいろこども園　〃	R2.4.1
小杉西部保育園　〃	H7.5.31		

(2) 少年消防クラブ

クラブ数　１５クラブ　　クラブ員数　１６１２人　　令３．４．１現在

名　　称	結 成 日	名　　称	結 成 日
大島小学校　少年消防クラブ	S44.12.15	太閤山小学校　少年消防クラブ	S59.11. 1
金山小学校　〃	S58. 3.14	片口小学校　〃	S60. 7.15
中太閤山小学校　〃	S58.10.17	作道小学校　〃	S60. 9.19
小杉小学校　〃	S59. 5. 8	塚原小学校　〃	S60. 9.30
歌の森小学校　〃	S59. 5. 8	堀岡小学校　〃	S60.10.23
大門小学校　〃	S59. 5.11	新湊小学校　〃	S60.11. 7
下村小学校　〃	S59. 5.11	放生津小学校　〃	S60.11.25
東明小学校　〃	S59. 6.26		

４　女　性　防　火　ク　ラ　ブ　の　現　況

クラブ数　８クラブ　　クラブ員数　１０１人　　令３．４．１現在

名　　称			結成日
七	美	女性防火クラブ	S59. 9.11
作	道	〃	S60. 7.15
庄　西　地　区		〃	H 6.12.19
三　日　曽　根		〃	H 7. 9.12
善　光　寺		〃	H 8. 4.12
塚	原	女性防災クラブ	H17. 7. 1
小	杉	女性防火クラブ	H25. 7. 8
大	門	〃	H25. 7. 8

５　防火推進員会の現況

会員数　　令３．４．１現在

名　　称	校　下　数	人　　員
新湊校下防火推進員連絡協議会	１	３４

消防年報　令和３年版

編集日　令和３年６月
編　集　射水市消防本部

住　所　富山県射水市橋下条１５２２番地
〒９３９－０３３２
電　話　０７６６－５６－０１１９
ＦＡＸ　０７６６－５６－９５４２
メール　fire@city.imizu.lg.jp